

## 令和3年度 第2回 政策調整会議 会議録①②

◆開催日時：令和3年6月8日（火） 10：00～10：45

◆開催場所：第1委員会室

◆出席委員：堤副市長、戎井副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長

### ◆審議事項

- ・令和4年度国家予算に対する要望について・・・・・・・・・・・・・・・・・・企画課⇒承認
- ・令和4年度大阪府予算に対する要望について・・・・・・・・・・・・・・・・・・企画課⇒承認

### ◆審議概要

『令和4年度国家予算に対する要望について』

『令和4年度大阪府予算に対する要望について』

〈説 明 者〉 貝口企画課長、井上担当長、勝元主任

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉形式的な要望では意味がないので、実質的な要望となるようにお願いしたい。臨海部の整備については、昨年も市長から直接大阪府へ要望しており、引き続き力を入れて要望されたい。バイエリアのまちづくりは大阪府も力を入れている事業なので、「クレセントリンク・おおさかベイ」として広域的にとらえたときに、岸和田市をその中心に位置付け、特区やスマートシティとも関連させながら、大阪府を通じ国土交通省にも要望できるように。要望活動の際に、意欲を持って進めていることを伝えられたい。また、個別に要望を挙げているが、木材コンビナートやスポーツドーム跡地、ちきりアイランド等広域的に連動している。さらに、山から海までの都市構造の新たな形成という意味では、ゆめみヶ丘とも連動していることを、総合計画と整合性をとりながら、強く要望できるように進めてもらいたい。

〈教育長〉新型コロナウイルス感染症対応に係る財源措置については、本市固有の問題ではなく、各自治体共通の問題であると考えているが、それを要望事項として挙げている理由は何か。

〈井上担当長〉府市長会において新型コロナウイルス関連の要望が多くは出ておらず、本市は財政力が弱く、持出しが発生した場合は非常に財政状況が厳しくなるため、本市固有であると整理し、要望事項として挙げている。

〈教育長〉要望に際し、本当に差し迫った問題であることがわかるよう具体的な内容や数字が示されれば、より説得力のある要望となるため、配慮されたい。スポーツドーム跡地について、平成30年度で一旦要望が終わっており、アンケート調査を経て再要望

に至ったとのことだが、アンケート調査はどのような内容だったのか。

〈井上担当長〉この土地に関してどのように利活用が図れるか、また検討できるかという意見を聞いた。結果として、一部企業からは、ホテルやスポーツ施設等といった利活用の可能性があるといった意見があった。

〈教 育 長〉アンケート調査によって、観光や賑わいの創出で事業者の利用意向も確認できたことから、再度要望しているということか。

〈井上担当長〉そうである。

〈財 務 部 長〉新型コロナウイルスに関すること以外はハード系の要望である。本市は国土強靱化地域計画を策定しているが、今回の要望では触れられていない。国土強靱化地域計画の策定が国庫補助の要件になっていることもあり、ハード整備は災害対策にもつながるため、前面に出したアプローチを取る方が要望としては効果的ではないか。

〈堤 副 市 長〉ワクチン接種について、国の支出は7月末までの予定であるので、8月以降については市の持出しになる。財務部や保健部と調整し、国に強く要望してほしい。

〈財 務 部 長〉65歳未満のワクチン接種について情報は入っているか。

〈井上担当長〉臨時交付金については、一定スケジュール等も示されているが、ワクチン接種については情報を持ち合わせていない。6月中には今後の措置について方向性が示される予定と聞いており、予め国庫補助があるものとして予算措置をしていると聞いている。

〈堤 副 市 長〉財政状況が厳しいこともあるので、すぐにでも対応できるように、財務部、保健部で調整しておくこと。

〈総合政策部長〉本案件について、一部修正のうえ政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、一部修正のうえ承認し、政策決定会議に付議する。

令和3年5月 27 日

### 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

#### 記

付議事項名	令和4年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和4年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	貝口企画課長 井上担当長 勝元主任
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和3年度 第3回会議
付議事項	令和4年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

<p>&lt;現状&gt; 国の厳しい財政状況により、国から本市への補助金の減少が懸念される。</p> <p>&lt;課題&gt; 国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。 なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。</p>
---

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	HR1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
大阪府議会議員団を通じて、国に対し要望する。								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
有	無						

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	HR1年度	R2年度	R3年度	目標値				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。

令和3年5月 27 日

### 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

#### 記

付議事項名	令和4年度大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和4年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	貝口企画課長 井上担当長 勝元主任
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和3年度 第3回会議
付議事項	令和4年度大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大阪府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大阪府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

<p>&lt;現状&gt; 大阪府の厳しい財政状況により、大阪府から本市への補助金の減少が懸念される他、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。</p> <p>&lt;課題&gt; 大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。</p>
--

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	HR1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	HR1年度	R2年度	R3年度	目標値				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。